平成 24 年度事業 事後評価・決算 事務事業マネジメントシート

	事務事業名	吉田パーキングエリ	リア整備事業	所属部	建設部	所属課 建設事業課
***		〈Ⅱ〉環境に配慮した!	安全・快適な生活環境づくり≪定住環境≫	所属G	国県事業G	課長名 藤原重信
合計	施策名	〈08〉高速·広域交通《 建道路利用者 B)広域道	網の整備 意 <mark>市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動で</mark>	担当者名	佐藤 勝	電話番号 0854-40-1062 (内線) 3736
画体	的 象 <mark>路利用</mark> 基本事業名	<mark>者</mark> 〈022〉高速道路の整	図 <mark>きるようにする。</mark> 構促進	予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 4 0 0 8 業	
系	目対 <mark>高速道</mark> 的象	路利用者	意図 安全・迅速に高速道路を利用してもらう。		項 目 中事業 中1 1 0 1 5 0 1 業	事 高速道路整備関連事業 名

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 単年度のみ □ 単年度繰返 年度~) ☑ 期間限定複数年度 24 年度)

(18年度~ ② 事業内容

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

(事務事業の概要)

- ・吉田地域活性化施設と追加ICに関する関 係機関の協議・調整
- (具体的なやり方、手順、詳細)
- ・高速道路の開通に併せ道の駅として供用開 始できるよう協議・調整及び工事を行う。また 追加ICについても、同時期の連結を目指すと 伴にIC線の工事を行う。

(の) 事致事業の手帆, 牝梅

(2	2)事務事業の手段・指標						
	① 主な活動						
	24年度実績(24年度に行った主な活動		25年度計画(25年度に計画する主な活動)				
	•地域活性化施設詳細設計		平成24年度終了				
	•地域活性化施設建築工事発注》	乃7戊旃	丁笞	1 /202			
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	- 10.組織壮士車&注取が佐士祭1	m					
手	・10旅舗表工争光注及ひ加工官は	王					
段							
1							
	② 活動指標	単位	225	F度	23年度	24年度	25年度
		単位	(実	績)	(実績)	(実績)	(計画)
ア	用地買収	0/		100			
,	用地貝似 	%		100	_	_	
	工 声 冼 扯 壶	0/		^	00	100	
1	工事進捗率	%		0	20	100	

(3)事務事業の目的・指標

	(3)事務事業の日的・相様							
目	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	立 22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	
	┃ ┃ ┃ ┃ ・高速道路利用者	ア地域活性化施設	棟	0	0	1		
	・吉田地域の住民	イ休憩施設	棟	0	0	1		
		ウ						
的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	立 22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	
	・安全・迅速に高速道路を利用してもらう。 ・吉田地域における利便性が向上する。	ア高速道路利用者	数 台/日	5,600.0	3,400.0	2,800.0		
		イ 時間短縮(雲南市	市内) 分	0	30	30		
		ウ						

(4) 争伤争未のコヘト							
① 事業費の内訳(24年度決算)	2	コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
地域活性化施設整備費:283,489千円		国庫支出金	千円		17,028	67,405	
地域活性化IC線整備費:47,300千円	事源	県支出金	千円				
	事 版	地方債	千円	14,600	40,800	250,800	
	書 訴	その他	千円				
	52 117	一般財源	千円	4,472	5,343	12,584	
		事業費計(A)	千円	19,072	63,171	330,789	
	人	正規職員従事人数	人	1	2	3	
	件	延べ業務時間	時間	480	640	1,500	
	費	人件費計(B)	千円	1,866	2,523	5,877	
	 	-タルコスト(A)+(B)	千円	20,938	65,694	336,666	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

(1) 塚頂変化(この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	(2) 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
省による新直轄事業となり、高速道路本線上での施設施設整備が出来なくなったことから、雲南市として高速道路隣接地に道の駅と	高速道路本線上の施設整備が出来なくなったことから、道の駅として施設の認知を図ることとした。 また、公設民営によりランニングコストの縮減を図った。	地域活性化施設計画については、合併前から協議がなされており、観光産業に寄与する追加IC設置についても、地元地域からの要望がなされていた。

所属部 <mark>建設部</mark>

所属課 <mark>建設事業課</mark>

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	事後	と評価	[SEE]					
	1) IF	7等体	系との整合性	この事務事業のE	的比市の)政策体系に結びつくかつ	? 意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由
Α			し余地がある			いている	* 余地がある場合	JEEGWING DOC / CITE
		兄师	ュレホ地かめ	o 💌 का	こいし	いている	· %>5% 65 65 65 65	
	<u> </u>		L13.14					
监	(2) 1	以共関	与の妥当性	なぜこの事業を市	が行わな	:ければならないのか?	?税金を投入して達成する目的か?	
四	Г		し余地がある	5 V 9	当であ	ر _م	* 余地がある場合	
目的妥当性				V		7 0		
当	② ÷	+ 色 . 폭	意図の妥当性	4.6.4.四点 '泊+	ロナフショ	まはないか 0 辛回ナ阳	ウ セネナスツ亜はわいたの	
性	S X	小多"怎	は四の女ヨは	対家を限定*追加	19 句必を	とはないか? 息凶を限	定・拡充する必要はないか?	
		□見圓	重し余地があ ん	る 🔽 道	切であ	る	* 余地がある場合	
	4) E	女果の	向上余地 。	大果を向 トさせる余	也はある:	か? 成果を向上させる	うため現在より良いやり方ははないか? (可が原因で成果向上が期待できないのか?
	<u>, ,,</u>		上余地がある	WKC1-12-C-C-070	1		周整し、建設を完了したので、向	
	- 5					出工人地自己	同金し、建設を光 1 したので、同。	上示地はない。
	ls.	∕ □]_	上余地がない		理由			
	(5) 屠	を止・位	ҟ止の成果へ	の影響 この事	終事業を	廃止・休止した場合の	影響の有無とその内容は?	
	Г				77 714 2		場合、吉田PAは国の必要な機能	ものみの施設となる
В	H	】影響無 7 影響有				光正 小正した	物日、日田一八は国の必安は成市	とのなっている。
有		京	等 有		理由			
効								
性								
II	6) 类	頁似事	業との統廃合	・連携の可能性	目的達	成には、この事務事業以	外の手段(類似事業)はないか? ある場合、	その類似事業との統廃合・連携ができるか?
	Г		こ手段がある	* ある場合■		な手段		
				連携ができる	()()	事業名)		
		5		連携ができない	1 75 10		S1 1	
			机角音	建携がぐさない		統廃合はできた	μιν _ο	
					理由			
	. I	7 他に	こ手段がない		一工山			
	(7)	[業書	の削減全地	成里を下げずに重	業費を当	減できたしか?(仕様	や工法の適正化、住民の協力など)	
					木具と同		活用の検討については事業費は	+21.
	- 1	 削減余地がある✓ 削減余地がない						
	Į.		理由	理由		国にお願いして事業費が削減する方		
С						法で整備を実施	色した。	
効								
率	® J	人件費	(延べ業務時	間)の削減余地	成果	を下げずにやり方のエ	夫で延べ業務時間を削減できないか? I	E職員以外や外部委託ができないか?
性	Г		域余地がある				協議・調整をし、最小限の人員で	
1	E		成余地がない				が成 時 正とし、取り 限の 八兵 こ	ずれと久心した。
	1	F1//	以示 地かない		理由			
D	(Q) =							
	ر ک	受益機	会•費用負担	の適正化余地	事業内	容が一部の受益者に	偏っていて不公平ではないか? 受益者1	負担が公平・公正か?
11.	<u>د ن</u>				事業内			
公		見回	し余地があ	3	事業内	吉田PAの取り	組みについては一部(吉田町・掛	合町)の受益となるが、観光産業など
平		見回		3	事業内理由	吉田PAの取り 市内全域を対象	組みについては一部(吉田町・掛 象となる要素もあり、高速道路の	
平		見回	し余地があ	3		吉田PAの取り	組みについては一部(吉田町・掛 象となる要素もあり、高速道路の	合町)の受益となるが、観光産業など
平性		見回	し余地があ	3		吉田PAの取り 市内全域を対象	組みについては一部(吉田町・掛 象となる要素もあり、高速道路の	合町)の受益となるが、観光産業など
平性	V	□ 見证 ✓ 公□	重し余地がある 平・公正である	5		吉田PAの取り 市内全域を対象	組みについては一部(吉田町・趙 象となる要素もあり、高速道路の 象者となる。	合町)の受益となるが、観光産業など 活用方法の検討・エ夫により雲南市
平性	V	□ 見证 ✓ 公□	し余地があ	5		吉田PAの取り 市内全域を対象	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。	合町)の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・エ夫により雲南市 処と理由)
平性評	1 1	】 兄 弘 公 公 公 次 評 何	をし余地がある。 ・公正である 一・公正である	る。	理由	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で	合町)の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速
平性	① 1 A	及 次 次 評 (目的	恒し余地がある P・公正である 西者としての 要当性	る。 ・ 平価結果 ▽ 適切	理由	吉田PAの取り 市内全域を対 全域が受益対 全域が受益対	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性 評価	① 1 A	】 兄 弘 公 公 公 次 評 何	恒し余地がある P・公正である 西者としての 要当性	る。	理由	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性評価の	① 1 A E	次評() 有効	恒し余地がある ア・公正である 一番者としての 一番者としての 受当性 性	る。 平価結果 「図 適切」	理由	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性評価の総	① 1 A B	見公 次評(日有効率	国し余地がある。 ・公正である。 ・公正ではないる。 ・公にはないる。 ・公にはないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	る 評価結果 図 適切 図 適切	理由 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性評価の	① 1 A B	次評() 有効	国し余地がある。 ・公正である。 ・公正ではないる。 ・公にはないる。 ・公にはないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	る。 平価結果 「図 適切」	理由 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性評価の総	① 1 A B	見公 次評(日有効率	国し余地がある。 ・公正である。 ・公正ではないる。 ・公にはないる。 ・公にはないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	る 評価結果 図 適切 図 適切	理由 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性評価の総	① 1 A B	見公 次評(日有効率	国し余地がある。 ・公正である。 ・公正ではないる。 ・公にはないる。 ・公にはないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	る 評価結果 図 適切 図 適切	理由 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性 評価の総括	1 1 A B C D	東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	国し余地がある。 ア・公正である 一番としての記 子当性性性性性性性性性性性性	不価結果 図 適適切 図 適適切 図 適適切	理由 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・排象となる要素もあり、高速道路の象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト
平性 評価の総括 3	① 1 A E C D	東京 日有効公 の方	恒し余地がある P・公正である 番者としての記 妥当性 性性性性性	不価結果 ▼価結果 ▼ 適適切切 ▼ 適適切切り	理由 見ī 見ī 見ī	吉田PAの取り 市内全域を対象 全域が受益対 全域が受益対 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	組みについては一部(吉田町・推 象となる要素もあり、高速道路の 象者となる。 ② 1次評価結果の総括(根 高速道路建設の事業主体で 道路に付随する市の事業も近 が軽減されるよう検討し、整任	合町) の受益となるが、観光産業など活用方法の検討・工夫により雲南市 処と理由) ある国土交通省と協議しながら、高速 進め、工事コスト、ランニンングコスト

3 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
▼廃止	コスト
	上しない、もしくはコスト維持で成果低下で は改革・改善とはならない。
	1007 WECI0:00'60'